

事業コード	H18-建-継-13		区 分	国庫補助 県単独
事業名	国道特殊改良一種事業費		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	国道特殊改良1種		班 名	高速道路国道班 (tel) 018-860-2488
路線名等	国道342号		担当課長名	檜森 悦朗
箇所名	東成瀬村岩井川		担当者名	伊藤 茂
総合計画との関連	政策コード	U	政策名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備
	施策コード	03	施策名	地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備
	指標コード	02	施策目標(指標)名	県管理国道改良率

1. 事業の概要

事業期間	H13 ~ H21 (9年)	総事業費	18.0億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	延長 L=3,280m、幅員 W=6.0(11.0)m					
事業の立案に至る背景	国道342号は、秋田県と岩手県及び宮城県を結ぶ広域幹線道路である。また、当該区間は産業・経済の地域間交流の拡大及び栗駒国定公園を中心とする広域観光ルートの形成を支援する道路であるが、大型車のすれ違い困難区間が存在し、総重量25t車両が通行不能な区間が存在する。このため安全で円滑な道路交通を確保すると共に生活道路及び広域幹線道路としての機能強化を図り、地域間交流、地域の活性化へ寄与する道路整備を行う。					
事業目的	地域づくりの支援(大型車すれ違い困難区間を解消、成瀬ダム建設事業の支援) 物流効率化の支援(総重量25tの通行が可能となる) 安全な生活環境の確保(生活圈中心都市へのアクセス道路の確保、第2次緊急輸送道路ネットワーク計画への位置づけあり)					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	1,793,000	1,793,000	0		
	経費内訳	工事費	980,441	980,441	0	
		用補費	715,163	715,163	0	
		その他	97,396	97,396	0	
	財源内訳	国庫補助	896,500	896,500	0	
		県債	0	0	0	
その他		0	0	0		
一般財源	896,500	896,500	0			
事業内容	調査・設計 改良工 橋梁工 舗装工	調査・設計 改良工 橋梁工 舗装工			事業は国との協定に基づき進めており、工事は委託である。	
事業の進捗状況	調査、設計業務及び用地取得は(進捗率:H18年度末98%)ほぼ完了している。工事としては平成16年度にL=2,400m(バイパス部)を供用している。平成18年度末の工事進捗率は69.4%であり、平成21年度完成供用に向けて工事促進中である。					
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	成瀬ダム建設工事					
情勢の変化及び長期継続の理由	H17.12.12湯沢商工会議所から要望を受けている。					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	旅行速度の向上				
	指標式	旅行速度km/h				
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	
	目標値 a	50 km/h		データ等の出典	平成17年度道路交通センサス	
	実績値 b	48.4 km/h				
達成率 b/a	96.8 %		把握の時期	平成17年4月		

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	特になし
	指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	現道の幅員は5.0mで大型車のすれ違いが困難。 現道の事故率は75件/億台kmと高い。	14点
緊 急 性	防災点検又は震災点検要対策箇所に該当する老朽橋の架け替えがバイパス整備により解消される。	10点
有 効 性	第2次緊急輸送路指定路線でもあり、災害や救急医療施設へのアクセス道路としての活用も見込まれる。また、災害時には国道397号の代替機能も有する防災計画上の重要路線である。	28点
効 率 性	計画交通量は3,300台/日である。 事業の費用便益は1.41である。	11点
熟 度	用地買収は98%進捗しており、工事進捗率も8割と熟度は高い。 地元首長をはじめ、湯沢商工会議所からも要望を受けている。	20点
判 定	ランク () 第2次緊急輸送路指定路線に位置づけられており、「熟度」、「有効性」、「効率性」なども高い点数であることから引き続き実施すべき事業である。	83点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

引き続きコスト縮減に留意しながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。

評価種別 継続箇所評価

事業コード(H18-建-継-13)

適用基準名 道路改築事業(地域間交流・連携促進)

箇所名 (東成瀬村岩井川)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	<ul style="list-style-type: none"> 車道幅員 < 5.5 m 最小半径 < 100 m 最急勾配 > 5 % 冬期堆雪巾なし 	3箇所以上	8	8	2次改築事業については該当しない。
		2箇所	5		
		1箇所	3		
		0箇所	0		
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	7	6	2次改築は配点15点 2次改築は配点12点 2次改築は配点10点 2次改築は配点8点 2次改築は配点4点
		4件該当	6		
		3件該当	5		
		2件該当	4		
		1件該当	2		
該当項目なし		0			
計			15	14	
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	あり	5	5	
		なし	0		
		市町村合併支援道路	位置づけあり		
	位置づけなし	0	0		
	特有の課題の有無	あり	5	5	
なし		0			
計			15	10	
有効性	道路の位置づけ				
	緊急輸送路	第1次輸送路	10	8	
		第2次輸送路	8		
		第3次輸送路	6		
		指定なし	0		
	県内90分交通体系、全国1日交通圏等に	あり	10	10	
		なし	0		
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	10	10		
	低下傾向	6			
	必要性が低い	3			
計			30	28	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比(B/C)	1.5以上	5	3	
		1.0以上~1.5未満	3		
		1.0未満	0		
	計画交通量	5,000台/日以上	5	3	
		1,000台/日以上~5,000台日/未満	3		
		1,000台/日未満	0		
	コスト縮減	あり	5	0	0
なし		0			
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	etc 大規模バイパス etc 部分的ミニバイパス etc 現道拡幅	
	既投資額の部分的損失	4			
	既投資額の損失が少ない	3			
計			20	11	
熟度	事業の進捗進捗状況				
	事業の進捗(事業費)	8割以上完了	10	10	
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
		用地買収の進捗(面積)	8割以上完了		
	5割以上完了	8			
	1割以上完了	5			
	1割未満	2			
	未着手	0			
計			20	20	
合計			100	83	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		